

研究課題名	小児先天性水腎症における腹部超音波所見を用いた腎動態シンチグラフィー指標予測モデルの後方視的検討
研究の意義・目的	小児の先天性水腎症の診療では、腎機能や尿路通過障害を評価するために腎動態シンチグラフィーが不可欠ですが、放射線被曝や鎮静の必要性から頻回な実施には制約があります。一方で、腹部超音波検査は非侵襲的で容易ですが、定量的な機能評価には限界があります。 本研究は、これら両検査の関連性を解析し、超音波所見からシンチグラフィー指標を予測するモデルを構築することで、適切な検査時期の判断や不要な被曝の回避を目指します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2030 年 3 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2007 年 1 月～2025 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院(2022 年 3 月 31 日以前は大阪市立大学医学部附属病院)で、小児外科にて腹部エコー検査と腎動態シンチグラフィーを施行した患者さん
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、身体所見、身長、体重、診断名、年齢、性別、生年月、既往歴（合併症、併存疾患を含む）、手術の有無、画像検査データ（検査施行年月、腹部超音波検査、腎動態シンチグラフィーを含む）
試料・情報を利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科小児外科学のみで行います。 【研究責任者】大阪公立大学医学研究科 小児外科学 廣瀬雄輝
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 小児外科 担当者氏名：廣瀬 雄輝 電話番号：(06) 6645-3841